リーダーたちの本棚 VOL.131
Leaders as Reader

企画・制作 朝日新聞社メディアビジネス局 広告特集

L 【率いる】 Leading

保険に新機能を加え「健康応援企業」へ

SOMPOひまわり生命は、保険本来の機能(Insurance)に健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせた、従来にない新しい価値「Insurhealth®(インシュアヘルス)」を提供する。

「生命保険は従来、自分や家族に『万が一』のことがあった時の備え、というイメージが強かったと思います。しかし現在は、病気の予防や早期発見に関するテクノロジーが進化し、万が一を可能な限りなくしていくようなサービスを保険に付与することが可能になっています。当社はこの明るく前向きなコンセプトのもと、総合的にインシュアヘルス商品にシフトしていくと宣言し、『あなたが健康だと、誰かがうれしい。』という企業スローガンを掲げました。伝統的な生命保険会社から脱却し、国民の健康を応援する『健康応援企業』への変革を目指しています」

インシュアヘルス商品の第一弾として発売された収入保障保険「じぶんと家族のお守り」は発売後8カ月で加入が10万件を超え、今も多くの支持を集める。その理由のひとつは、加入者が無料で利用できる「健康チャレンジサポートサービス」。禁煙方法のアドバイスや個別の相談に応じてもらえたり、体重管理や食事記録をサポートするアプリが利用できたりする。「じぶんと家族のお守り」が保険本来の機能の部分であり、「健康チャレンジサービス」が健康応援機能にあたる。この両輪が組み合わさっていることがインシュアヘルス商品の特徴だ。

「一般的な禁煙の成功率は2割と言われていますが、私たちのお客様からは保険加入をきっかけに禁煙に成功したという喜びの声が多く届いています。『保険をきっかけに夫が禁煙に取り組んでくれてうれしい』といったご家族からの声も寄せられています」

保険とテクノロジーの融合を促進

保険とセットで提供しているアプリは、加入層に合わせて複数そろえ、国内外から技術を集めて開発している。シリコンバレーの企業と開発した認知機能の維持・改善を支援するアプリや、イスラエルの企業と開発したスマホカメラでストレス度を測定するアプリ、スイスの企業と開発した健康状態を数値化するアプリなどだ。日本のヘルスケアベンチャーが開発したがんの罹患(りかん)リスクを唾液(だえき)から測定する技術と保険を組み合わせた新たな商品の開発などにも取り組んでいる。

「万が一の時の安心・安全を保険で保障するだけでなく、テクノロジーを通じてお客様の毎日とつながり、健康リスクの予測・予防に貢献していきたいと考えています」

大場さんの腕にあるウエアラブル端末は、歩数や心拍数、消費カロリーなどが測れる。これを全社員に配ってデータを取り、社内から健康意識の向上を図っている。就業時間内禁煙、新入社員の非喫煙者採用など禁煙にも力を入れる。

「リーダーの役割は、社員に夢や希望を与えること。社会に明るい未来を提示すること。テクノロジーを取り込んで新しい価値を創造していきたい。私の座右の銘は、佐藤一斎の『言志四録』にある『一燈を提げて暗夜を行く 闇夜を憂うること勿れ 只だ一燈を頼め』。一燈(理想)を信じて、『健康応援企業』への変革を目指していきます」

広告朝日
■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、大場康弘さんが語るリーダー論を紹介しています。
https://adv.asahi.com/ 広告朝日 検索

SOMPOひまわり生命 取締役社長
おおばやすひろ
大場康弘さん

1965年鹿児島県生まれ。88年慶應義塾大学商学部卒。同年安田火災海上保険(現・損害保険ジャパン)入社。2014年NKSJひまわり生命(現・SOMPOひまわり生命)取締役執行役員などを経て18年4月から現職。

R 【読む】 Reading

新たな視座と自分を発見する喜び

「インシュアヘルス」という新しい保険のあり方を提案しているSOMPOひまわり生命。同社を率いる大場康弘さんの傍らには常に本があるそうだ。「読む年齢やタイミングによって捉え方が変わったり、発見があったりするところです。今回は折に触れて読み返している本を中心に紹介しました」

指針としている経営論を何度も読み返し書き込み

純文学、エッセー、海外のミステリーなど、ジャンルを問わず読んでいます。ビジネス書はあまり読まないのですが、柳井正氏の著書『経営者になるためのノート』は心に響くものがあり、何度も読み返しています。中でも「経営者とは、成果をあげる人」「成果とは、約束したこと」という冒頭の言葉。当たり前のようで、簡単なことではありません。経営者に必要な「変革する力」「儲ける力」「チームを作る力」「理想を追求する力」について様々な視点から説く実践的な経営論も読み応えがありました。書名の通りノートの体裁なので、成果の有無などを書き込んで自己評価の指針としています。社長になってからは、初めて管理職になった社員にメッセージを添えてプレゼントしています。自分と同じ指針をもって組織を率いてほしいと思うからです。組織の大小や職種を問わず、リーダーの参考になる本だと思います。

落語家・立川談春さんの自伝エッセー『赤めだか』は、ここ10数年に読んだエッセーの中でベストワンだと思う一冊。涙あり笑いあり、まさに落語のような面白さでした。彼の師匠である立川談志は「修業とは矛盾に耐えること」と語ったそうですが、矛盾の源は、談志その人。若き談春さんが悪戦苦闘しながら矛盾を乗り越えていくプロセスが清々しく、また、矛盾も是も非もさらして全人格で弟子に接する談志の姿が印象的でした。談志は自分のコピーを作るのではなく〝イズム〟の伝承をしていたのだと思います。お辞儀の仕方や扇子の置き方まで親切に教えたというのは意外でした。立川流の二ツ目に昇進するには、古典50席に加え、鳴り物、講談、踊りの技量が問われることにも驚きました。いろいろできて初めて物になるということでしょう。我々ビジネスの世界も、様々な仕事や職場を経験してやっと物になる。上司が部下に全人格で接することで伝わる〝イズム〟がある。そんな読み方もできました。

大学時代に読んだ本 再読すると新たな味わい

大学時代に愛読した作家は、藤原新也氏。旅行記に触発されて東南アジアをバスで旅したことも。中でも『印度放浪』は衝撃的でした。著者が1970年前後にインドを旅した時の手記です。彼が目にしたインドは物質的に貧しく、不衛生で、川には死体も流れている。けれども、死と隣り合わせの生の輝きがあり、命の実感があり、精神の豊饒(ほうじょう)さがある。当時の日本といえば、物質的には豊かで、衛生的で、人工的。帰国した彼は、「今、僕の前にあるこのニッポンの風景は、あまりに美しすぎて悲しく、そして軽く、非歴史的であり、空しく、滑稽である」と書いています。「豊かさとは?」というテーゼを投げかけられた気がしました。当時からさらに文明が進んだ現代をどう生きるか。今読んでも考えさせられます。

最後は、夏目漱石の『三四郎』です。大学時代に読んでいましたが、50歳を過ぎてたまたま再読したところ、印象を新たにしました。昔は、熊本の青年が東京に出て大学生活や恋愛を謳歌する青春ストーリーという印象でしたが、読み方が単純でした。東京に出た三四郎は、それまで出会ったことのないような人々との交流を通じて、過去(故郷の価値観や日本の古い慣習)、未来(知識人たちの新しい思想や自由恋愛)、現在(現実世界の自分)のはざまで揺れ、迷います。明治の終わりに人間の普遍的な心情を捉えた漱石。その文章は淡々としていながら絵画のように美しい。今作に続く『それから』『門』なども、読み直すと印象を新たにすることが多かったです。日本語で漱石を読める幸せをかみしめました。

読書は新たな視座を与えてくれると同時に、私が喜劇映画の虜(とりこ)になったように、あるいは50歳を過ぎて漱石に魅せられたように、眠っていた自分を発見する機会を与えてくれます。ですから忙しい時も読書の時間だけは大切にしています。(談)

大場康弘さんのおすすめ本棚

『経営者になるためのノート』
(PHP研究所) 柳井正・著
著者が語る仕事に必要な4つの力とは? ユニクロ幹部社員が使う「自分で完成させていくノート」。欄外に気づきを書き込めば、自分だけの一冊に。

『赤めだか』
(扶桑社文庫) 立川談春・著
17歳で天才落語家・立川談志に入門。両親の反対により新聞配達をしながら、「上の者が白いと云えば黒いもんでも白い」世界で落語家前座修業が始まる。

『日本の喜劇人』
(新潮文庫) 小林信彦・著
エノケン、ロッパ、森繁久彌、渥美清、萩本欽一、ビートたけしなど、喜劇人たちの素顔を具体的な記述の積み重ねで鮮やかに描き出す喜劇人の昭和史。

『印度放浪』
(朝日文庫) 藤原新也・著
インド世界を独特のカメラ眼とペンで感性豊かにとらえた著者のみずみずしい第1作。旅を終えてからの「十五年目の自白」や語録も収載。カラー版。

『三四郎』
(岩波文庫) 夏目漱石・著
大学入学のために九州から上京した三四郎は、東京の新しい空気の中で経験を重ねながら成長してゆく。『それから』『門』へと続く3部作の一つ。

海外では今も高い人気。これぞ名品 SEIKO
セイコー5、しかも日本製!
自動巻き 中三針 日付 曜日 防水

時計史に残るオートマチック(自動巻き)
日本の時計史の二時代を築いたセイコー5。自動巻きなど5つの機能を併せ持つことから名づけられ、セイコー社が昭和30年代後半に発売。当時、5つの機能を持つ時計は他になく、大卒初任給の半分ほどの高価な時計でありながら大変な人気でした。その後、国内では姿を消しますが、時刻の正確さと耐久性に定評があり、海外では高い人気を保ったままです。輸出用は通常中国製ですが、わずかに国内で製造されている希少品を特別入手。マニア垂涎のレアモデル、日本製セイコー5です。時刻合わせなど手間もかかりますが、それも自動巻き時計ならではの楽しみ。愛着も湧きます。

日本製セイコー5(ファイブ)
●申込番号 T42643−3 19,800円+消費税 ※別途送料840円(税別)
※文字盤の色(ホワイトはA、ブラックはB)をご指定ください。
●サイズ(約):直径39×厚さ10mm●重さ(約):101g●素材:ステンレス、クリスタルガラス●ムーブメント:SEIKO TIME CORP 7S26(21石)日差約±40秒●防水:日常生活防水●曜日表示(英語・アラビア語)●日本製●品質保証:1年

締めつけ感がないのに抜群の固定力を生む吉松マジック!

整形外科医
吉松俊一氏 監修
日本におけるスポーツ医療の第一人者である整形外科医。日本プロ野球界初のチームドクター。

特許番号
第6321136号(日本)
第3567450号(中国)

「着けて驚き、膝が楽になりました」
プロ野球界初のチームドクター 伝説の整形外科医監修の膝サポーター
日本製
特許取得済 3次元テーピング構造
2枚組
左右兼用
男女兼用

B ベージュ

「締め付けは感じないのに、しっかり固定できる」シリコン膝サポーターです。スポーツドクター・吉松氏の理論に基づき特殊な方法でサポーターに塗布されたシリコンがまるでテーピングをしているかのように機能し、膝の動きを快適にサポートします。

ホルザック シリコン膝サポーター(2枚組)
●申込番号 T42643−2 3,600円+消費税 ※別途送料840円(税別)
※色(ブラックはA、ベージュはB)とサイズ(M、L、LL、F)をご指定ください。
●サイズ:M、L、LL、F●重さ(約):27.5g(M)●素材:ナイロン、ポリエステル、ポリウレタン、塗布剤=シリコン●日本製

サイズ(cm)	M	L	LL	F
ひざ周り	30〜34	34〜38	38〜42	38〜46

※Fが最も大きいサイズです。
ヒザ頭の周囲を測ってください。2サイズに該当する場合は、大きい方のサイズをおすすめします。

重ね着不要でポカポカ!
体から放出される水分を吸収して発熱するインナーベスト
男女兼用

着膨れしない! 動きやすい!
ワイシャツやブラウスの下に着るだけ。薄くて軽いのに、驚くほど暖かいインナーベストです。秘密は内側に使用されている旭化成せんい㈱の発熱繊維「サーモギア®」。人間の体から放出される汗などの水分を吸収して発熱します。肩から背中、お腹、腰までくまなくポカポカ。これ1枚あれば重ね着しなくても快適です。わき腹部分は伸縮自在で体にフィット。腰部内側にはカイロが入れられるポケット付き。動きやすく、確かな保温効果で冬を心地よく過ごせます。

旭化成せんい(株)の吸湿発熱繊維「サーモギア®」使用
●表:薄くて軽い素材でアウターに響きにくい。
●中:キルティングにより空気層が生まれ保温効果がさらにアップ。
●裏:吸湿発熱繊維「サーモギア®」を使用。肌触りのよいパイル仕上げに。

吸湿発熱ぬくインベスト よりどり2枚
●申込番号 T42643−1 5,990円+消費税 ※別途送料840円(税別)
※2枚セットで色(グレーはA、ベージュはB)、サイズ(SM、ML、LL)が自由に選べます。ご注文の際にご指定ください。
●材質:表=ポリエステル100%、裏=綿40%、アクリル24%、ポリエステル20%、キュプラ16%●重量(約):SM=120g、ML=140g、LL=160g●洗濯機可(弱・ネット使用)●日本製

(cm)
サイズ	前丈	後丈	適応胸囲
SM	51	62	80〜96
ML	54	65	88〜104
LL	55	66	96〜112

お申し込みは今すぐ!(24時間受付)
代金引換 0120-570-220 クレジットカード 0120-661-510
●〒162-0042東京都新宿区早稲田町5-4 ●FAX 0120-587-412(24時間受付)
※おかけ間違いにご注意ください。 がくぶん特選館 検索 株式会社学文社
がくぶん特選館
カタログ無料進呈中!
■商品のお届けまで受注後約10日。お支払いは代金引換(一部商品を除く・手数料当社負担)、各種クレジットからお選びください。
※返品は商品到着後8日以内に。お客様都合の返品の際は、返送料お客様負担。
※お客様の個人情報は商品のお届け他、当社の各種情報のご案内に使用させていただく場合があります。